

教育委員会に関する事務の管理  
及び執行の状況の点検及び評価

# 報 告 書

実施日：令和5年10月27日

新庄市教育委員会は、新庄市教育行政有識者委員会の意見を参考に、教育委員会に関する令和4年度事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行いました。

点検・評価の結果、教育関連の事務事業については、概ね順調に進んでいるとの評価に至りました。

点検・評価した事務事業と教育行政有識者委員会の審議概要は、次ページ以降に記載しております。

新庄市教育委員会

# 令和4年度新庄市教育委員会 事務事業の評価説明資料

1. 第5次新庄市総合計画の事務事業評価を活用しました。
2. 教育行政有識者委員会の審議概要を添付しています。

新庄市教育委員会

## 【参考資料】

### 令和5年度新庄市教育行政有識者委員会審議概要

教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うに当たって、新庄市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項に基づき、新庄市教育行政有識者委員会の意見を吟味し、その活用を図りました。

ここに掲載した資料は、教育委員会の事務事業のうちから3事業を抽出し、令和5年9月12日、新庄市教育行政有識者委員会において事業の評価のために行った審議内容をまとめたもので、新庄市教育委員会はこれを参考に点検及び評価を行いました。

## 令和5年度 新庄市教育行政有識者委員会 審議概要

審議内容：『令和4年度教育委員会事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価』

開催日時	令和5年9月12日（火） 午後1時30分～午後3時15分
開催場所	新庄市役所301・302会議室
出席委員	阿部彰委員長、今田雄三副委員長、小野広美委員、高橋千春委員 田中雅樹委員、長沼建委員 計6名出席
欠席委員	なし
教育委員会事務局 出席者 (事業説明者)	高野博教育長、渡辺政紀教育次長兼教育総務課長、杉沼一史学校教育課長、 伊藤幸枝社会教育課長
諮問事項	『地方教育行政の組織及び運営に関する法律』第26条の規定に基づく、 令和4年度教育委員会事務の管理及び執行の状況に係る点検及び評価  下記3事業を抽出し、点検及び評価の対象とした。 1. 小中一貫教育校整備事業 (教育総務課) 2. 部活動指導員配置促進事業 (学校教育課) 3. 新庄開府400年記念事業 (社会教育課)

## 【審議概要】

1. 小中一貫教育校整備事業	
《質疑応答》	
質問及び意見	教育委員会事務局の回答等
<p>7月末にグラウンド整備及び建物周辺外構工事が完了いたしましたして、完全に自動車も駐車できる状況となり、また、子どもたちも、1年生から9年生までと年齢の差はありますが、行事での交流、例えば9年生が1年生の手を引いていた入学式の姿を見たところ、ほほえましい光景であるなと思いました。</p>	
<p>市内の学校の先生が、明倫学園の校舎を羨ましいなど言っていたのを聞いたことがあり、それくらい素敵な校舎が完成したのだなというふうに思っています。説明の中で、強風等への対策が今後の検討課題であるとありましたが、子ども達の活動に影響するようなものなのでしょうか。また、対策はどのように考えているのでしょうか。</p>	<p>現在風の影響を受けているのは、子ども達ではなく近隣住民の方です。今まであった建物がなくなったことで、風を遮るものがないために、グラウンドから近隣住民の家の方へ風が吹くようになっているのが現状です。対策については、雪による影響も懸念されるため、今年度の冬の状況を鑑みて検討したいと考えており、一冬様子を見ることとしております。</p>
<p>風の影響による問題が気になっていたところでした。旧校舎によって遮られていた風が、校舎がなくなったことで風が吹くようになったということですが、建物がなくなるなどの環境の変化により、様々な意見や苦情があると思います。そのような課題に対して、近隣住民の方々の意見も聞き入れながら、課題解決に向けてご対応いただければと思います。</p>	
<p>明倫学園の周りを通りますと、活動中の児童生徒の顔が、心なしか明るいという印象を受けます。新しい校舎で、以前より幅広い学年との交流ができるということは子ども達にとっても良いことなのかなというふうに思います。</p>	
<p>どの学校も、生徒をどんなふうに育てたいのかという雰囲気を感じられるなと思っています。明倫学園には明倫学園の雰囲気があるし、萩野学園には萩野学園の雰囲気があり、これから新しい学校を作るにあたって、地域住民がどのような生徒を育てたいかというのがその学校に表れてくると思うので、地域住民とよく話し合いをして作って欲しいと思いました。</p>	
《方向性》	
<p>・すばらしい教育環境ができたという点で、大変評価ができると思います。一部にあった課題として、周辺環境の問題がありましたので、そのようなものを今後の事業に生かしていただきたいです。</p>	

2. 部活動指導員配置促進事業	
《質疑応答》	
質問及び意見	教育委員会事務局の回答等
<p>5人の指導員で本当に良いのかというところが心配でしたが、希望して指導員になる方もいるという説明があり、安心しております。指導員の方達の処遇も決まりつつあるのかなと思いますので、今後も頑張っていたきたいです。現在、部活動は自由度がとても高くなってきていますが、それによって子ども達がどうしたら良いか悩んでいるなどということはないのでしょうか。</p>	<p>初めは部活動指導員をしてくださる方を見つけること自体が難しい状況でしたが、現在は指導者がいないとなったときに、手を挙げてくださる方が出てきております。5人では心配だというご意見について、市としてももう少し指導員がいて欲しいという思いがあり、県の方にもお願いをしているところです。そして、部活動の自由度が高まり、子ども達の選択肢が広がっていることについて、今後どのように活動をしていくかをアンケート等で各学校に確認を取っている状況です。基本的には、平日に行っている部活動を、休日も行おうというところがほとんどのようでした。その他に、保護者の方がクラブ練習として、平日の夜に週1日2日ほどクラブ練習を行っている団体もありますが、そういったところがクラブ申請を行って、土曜日曜の受け皿となるというところが大半を占めるではないかと思っているところです。クラブ申請をしていただき、規約を作ることで、起こり得る問題をスムーズに対処することに繋がりますので、申請を行ってもらおうと思っているところです。</p>
<p>部活動指導員の方が担当している競技は何でしょうか。部活指導員には何か資格が必要でしょうか、また、部活動は教育の一つだと考えているのですが、指導をするために講習を受ける必要があるのでしょうか。</p>	<p>柔道、バドミントン、剣道、テニス、野球の指導をしていただいています。次に、資格について、教員免許やスポーツ指導員免許などというものは特に必要としておりません。講習については、県で実施しているものがありますので、受講をお願いしているところです。</p>
<p>今は運動部の指導員だけのようですが、吹奏楽などの文化部についても指導員が必要ではないかと思えます。専門的な知識が必要なため、山形市から講師を呼んで指導をしてもらっているところもあり、講師料が保護者の負担となっているようです。</p>	<p>文化部に指導員を配置することも可能であり、上を目指しての練習や、マーチングのような活動もする場合には、指導者が必要になってくるかと思えます。外部からお越しいただいて、保護者負担があるという話も聞いておりますので、今後部活動指導員の配置の検討が必要と考えております。</p>

部活動指導員の配置によって、課題を完全に解決できるということはありませんが、学校にとっては本当にありがたい事業だろうと思っています。部活動の地域移行についての資料からお話します。新庄市では、各方面へアンケートをとったり、話し合いの場を設けたりなど素早く対応し、計画・方針を示している点が良いところだなと思いました。一方で、文科省の部活動の地域移行に対する方針等を見ると、平日の部活動も地域に移行しようと考えているようです。現在は、部活動も学習指導要領に位置付けられていますが、平日・休日のどちらも地域へ移行した場合には、部活動は学校の教育活動の外に位置付けられ、指導要領からは外れる形になるのだろうなと思います。私は、学校の中で、先生方の指導のもとで部活動をすることによって、子ども達が成長した一面を見ることができるとというのが部活動の意義の一つであると考えているのですが、文科省の最終的な目標は完全な地域移行であるので、その点については折り合いをつけていく必要があるのではないかと考えているところです。以前、この件について、教育長が県の会議で仰っていた「部活動の地域移行については、将来を見通して、選手強化も含めて計画を立てることが必要ではないか」という意見が新聞に載っていました。子ども達の成長と先生方の負担削減を考えながら進めていっていただきたいと思います。

説明をお聞きして、すり合わせが大変で難しい事業だと感じました。顧問の先生と指導員の方とで、教え方や意見が違うところが少なからずあるかと思っていますので、両者の間ですり合わせがちゃんとできていないと、指導を受ける子ども達も大変なのではないでしょうか。また、指導員となる方を対象とした講習も大切だと考えています。自分の感情をコントロールできて、子ども達のことを第一に考えられる方から指導していただくと安心できるかと思っています。地域移行に伴い、部活動の自由度が高まっていますが、大会等へ出場をする場合、ほとんどの子ども達は勝ちたいと思うでしょう。その中で、学校の部活動で出場する子とクラブチームで出場する子が出てくることで、一人一人の意思の尊重ができる一方で、子ども達同士の人間関係への影響が

<p>懸念されます。先生方の負担軽減が重要な課題ではありますが、慎重に進めていただきたいと思います。そして、指導する種目について、様々な種目に充てて長い目で見て事業を行っていただきますようお願いいたします。</p>	
<p>顧問の先生と指導員との間での指導に関するすり合わせが非常に重要であり、すり合わせの中で、今後の指導方針の協議をしていくことで、少しずつ移行を進めて、学校の先生方の負担を軽減して本来の業務に時間を使えるようになってほしいと思います。最終目標へ到達することは大変な道のりであるかと思しますので、これまで以上に慎重に考えていただければと思います。</p>	
<p>まゆの里の隣で、バードゴルフがとても盛んかと思えます。休日は、バードゴルフやゲートボールしたりとか、冬はスキークラブをしたりなど、地域移行になったらできるようになるかと思えます。また、ボランティア活動などの様々な活動ができますので、子ども達がそれを理解してくれるようにしていただきたいと思います。</p>	<p>運動・文化部活動のみならず、今お話いただいたような活動や、絵を描いたり、俳句を読んだりなどといった様々な教室も市内にございますので、市内でできることを子ども達に紹介して、自分のやりたいことを見つけられるようにしていきたいと考えております。</p>
<p>《方向性》</p>	
<p>・働き方改革のため、先生の負担軽減が求められることから、この事業は必要であり、充実させていくべきであると言えます。現在は5人の指導員がいますが、文化系の活動にも指導員を入れてほしいといった声もありました。また、自由度が高いことによって考えられる子ども達同士の関係性を心配する声もありましたので、慎重に進めていただきたいと思います。</p>	

3. 新庄開府400年記念事業	
《質疑応答》	
質問及び意見	教育委員会事務局の回答等
<p>開府400年記念事業の目的をどこに置いているのかというのがまだ伝わってこないように思います。市報や、新庄信用金庫で出した戸沢公の本などを見ても、400年という歴史を記念して、イベントの開催だけで終わっているように見えます。歴史を積み重ねて、私たちが何をすれば良いのかが、受け手となる人たちには少し足りないのではないかと思います。今年の新庄まつりでは、天満宮・護国神社の例大祭にも参加させていただきましたが、式に参加することで、開府400年であることを知り、実感することはできるかと思えます。ただ、行政で開府400年を記念してこのような事をしたいから、みんなも参加してほしいというような、我々に訴えるものが少し足りないのではないかと感じています。イベントだけで終わるだけでも結構ですが、目的の周知に力を入れて、我々にも歴史を伝えていただければなという思いを持ちました。</p>	<p>大人が新庄の歴史や文化財などの宝を認識すること、また、それを子どもたちに伝え、子どもが誇れるようなまちづくりにしていくことが大きな目的になりますので、そこをどのように啓発していくかが大きな課題であると感じております。今後の広報活動、事業の企画へ活かしていきたいと思っております。</p>
<p>令和7年で開府400年となるとのことで、今村さんからのご提案で子どもたちのダンスイベントの開催はどうかとの話があったそうですが、大きなイベントをするうえで、何を目指してやっていくかというところを、これから一つ一つ落とし込みをかけていきながら、一つの目的を選んで、それに対しての手法を組み込んでいけるような企画にすると、受け手としても分かりやすいのではないかと考えたところです。</p>	
<p>大切なのは、これからどうしていくか、最終的に何を大事にしていくか、どのような方向に進んでいくかというようなところを確認していくことだと思います。課題として、盛り上がり欠ける部分があるということが挙げられます。市民全体への周知としては、市報へのロゴマークの掲載などもしているので何かしているのだなということが伝わっている一方で、内容までが分からないため、周知不足なところがあるのかなと感じております。事業をするにあたって、市民の方から意見やアイデアも募集して、それに基づいて進めているのだと思いますが、今後はより多くの方へ向けて周知するために、</p>	

<p>例えば、駅前通りにペナントを下げるとか、学校教育と関連させて、副読本の中に、地域について学ぶことができるものを集めて学校へ提供するなど、新庄の歴史に触れさせる機会を作ると良いと思います。</p>	
<p>新庄市は開府400年に関する物はよく探さないように思います。事業の盛り上がりがありませんと思って見ていたのですが、この間のお祭りで、子どもたちがすごく自慢げな顔で山車を引っ張ったり、お囃子をしているところを見て、新庄まつりが子どもたちの自信・自慢や誇りになっているのかなと感じて、新庄にお祭りがあって良かったなと思いました。今後はお祭りに加えて、開府400年のように新庄の歴史に関わるものが子どもたちの誇りになっていくと良い事業になるのかなと考えております。</p>	
<p>市民全体で盛り上げるイベントも実施した方が良いと思います。新庄の歴史を感じられる建物や、その形跡のようなものは所々にあると思いますが、それが市全体で繋がっていないように感じます。今週末に山車行事保存会の事業で、開府400年に向けてこれからの新庄まつりについての会議をする予定です。今までの歴史とこれからの新庄まつりというところに関して、担い手が相当数減っており、予算の面についても、今回市から予算をいただくことで何とかできましたが、かなり厳しい状態になってきていますので、そういったところも含めて、新庄藩開府400年、新庄まつり270年となる区切りとなるところでいろいろ考えていく契機なのかなと思っております。また、市報への掲載も、市民へ情報を伝え興味を持ってもらうための手法として効果的であると思いますので、活用できればと考えているところです。</p>	
<p>事業の評価について、有効性がやや低いとあって、改善の方向性を「事業規模、内容、実施主体の見直し検討」としており、課題として、「既存事業と並行して事業推進がマンパワー的に困難な状況にあるため、推進体制の強化・改善が必要」と挙げられております。私は実行委員会に入っているのですが、推進体制の強化・改善が1番の課題かなと感じています。実行委員会は年1・2回ほど開いてお</p>	

り、委員会では多様な意見を出し合って、そこで意見について検討すべきではありますが、ほとんど意見が出ないのが現状です。プロジェクトチームという企画チームがあり、その企画チームが考えたキャッチコピーやロゴ、企画内容などができて、それを承認する場となってしまっているのです。実行委員会には様々な分野の人たちが入っていますので、委員の方からの意見を聞いて、企画を揉んでいくことが実行委員会のあるべき姿だと思いますので、そこについては改善の余地があるのではないかというふうな感じがします。

《方向性》

- ・新庄のアイデンティティーを問うようなとても重要な事業なので、市民の期待もかなり大きいと言えます。そのため、事業は拡大の方向で、事業推進のために庁舎内や実行委員会の課題を改善することで、さらに事業を推し進めていただきたいと思います。